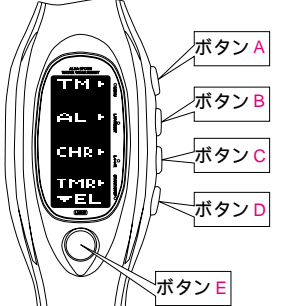


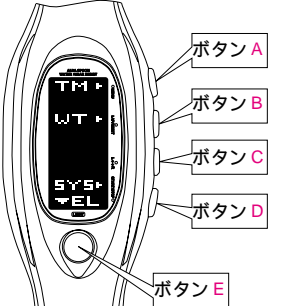
ボタンの名称とモードの切り替え

(1) モードメニューの場合



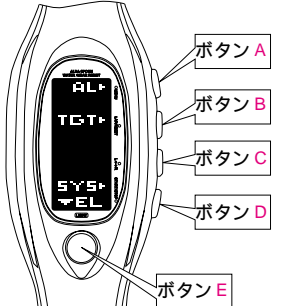
ボタン	モード	表示
ボタンA	時刻・カレンダーモードへの切り替え	TM
ボタンB	アラームモードへの切り替え	AL
ボタンC	ストップウォッチモードへの切り替え	CHR
ボタンD	タイマーモードへの切り替え	TMR
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(2) 時刻・カレンダーモードメニューの場合



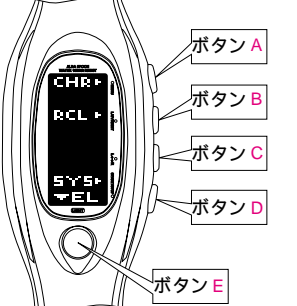
ボタン	モード	表示
ボタンA	時刻・カレンダー表示	TM
ボタンB	ワールドタイム表示	WT
ボタンC	無操作	
ボタンD	システムモードへの切り替え	SYS
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(3) アラームモードメニューの場合



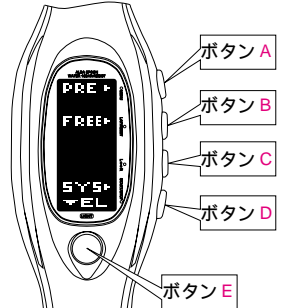
ボタン	モード	表示
ボタンA	アラーム表示	AL
ボタンB	ターゲットタイム表示	TGT
ボタンC	無操作	
ボタンD	システムモードへの切り替え	SYS
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(4) ストップウォッチモードメニューの場合



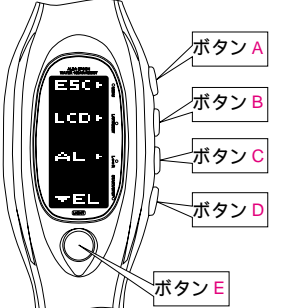
ボタン	モード	表示
ボタンA	ストップウォッチ表示への切り替え	CHR
ボタンB	リコール表示への切り替え	RCL
ボタンC	無操作	
ボタンD	システムモードへの切り替え	SYS
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(5) タイマーモードメニューの場合



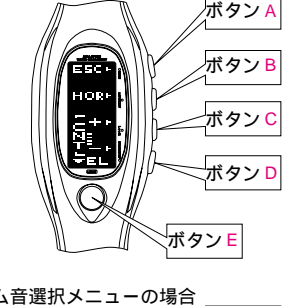
ボタン	モード	表示
ボタンA	プリセット表示への切り替え	PRE
ボタンB	フリー表示への切り替え	FREE
ボタンC	無操作	
ボタンD	システムモードへの切り替え	SYS
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(6) システムモードメニューの場合



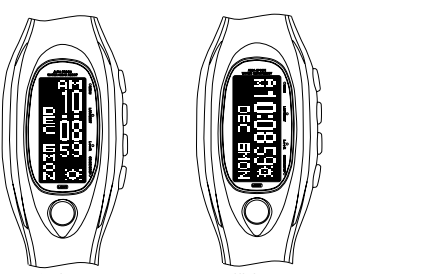
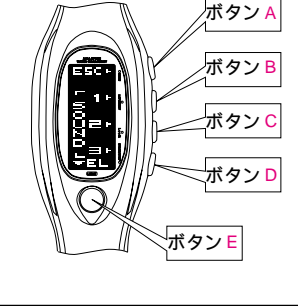
ボタン	モード	表示
ボタンA	メニュー表示への切り替え	ESC
ボタンB	縦/横表示への切り替え	LCD
ボタンC	アラーム音選択への切り替え	AL
ボタンD	無操作	
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(7) 表示メニューの場合



ボタン	モード	表示
ボタンA	メニュー表示への切り替え	ESC
ボタンB	縦/横表示への切り替え	VRT/HOR
ボタンC	コントラストの調整	+
ボタンD	コントラストの調整	-
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

(8) アラーム音選択メニューの場合

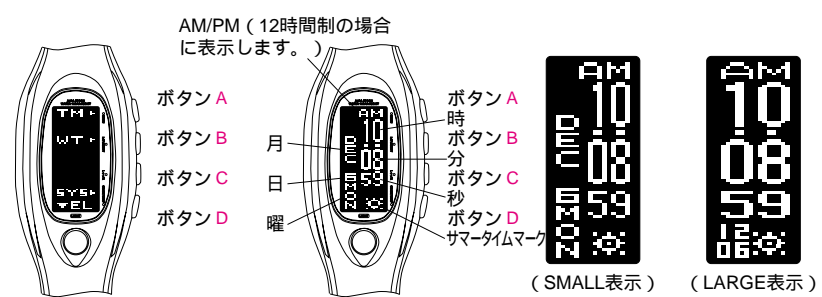


ボタン	モード	表示
ボタンA	メニュー表示への切り替え	ESC
ボタンB	アラーム音1への切り替え	1
ボタンC	アラーム音2への切り替え	2
ボタンD	アラーム音3への切り替え	3
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

製品の説明

時刻とカレンダーの使いかた
ターゲットタイムを設定した場合、設定タイムになると自動的にカウントUPの表示になります。現在時刻の表示にする場合は、ボタンAを押して、「メニューモード」表示にし、さらに、ボタンAを押して「時刻・カレンダー」表示にしてください。

(1) ボタンの名称とはたらき



ボタン	モード	表示
ボタンA	時刻・カレンダー表示への切り替え	TM
ボタンB	ワールドタイム表示への切り替え	WT
ボタンC	無操作	
ボタンD	システムモードへの切り替え	SYS
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

ボタン	モード	表示
ボタンA	メニュー表示への切り替え	ESC
ボタンB	修正箇所の選択	
ボタンC	時刻・カレンダー修正状態の呼び出し/解除	
ボタンD	SMALL/LARGE表示の切り替え	
ボタンE	修正箇所の合わせ(進み)	
ボタンA	報時のセット/解除 (ON/OFF)	
ボタンB	修正箇所の合わせ(戻り)	
ボタンC	内部照明の点灯	
ボタンD	オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	

「システムモード」については、「システムモードの使いかた」をご参照ください。

(2) 時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンAを押して「時刻・カレンダー」表示にしてください。

他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。さらに、ボタンAを押して「時刻・カレンダーモードメニュー」表示にし、ボタンAを押して「時刻・カレンダー」表示にしてください。

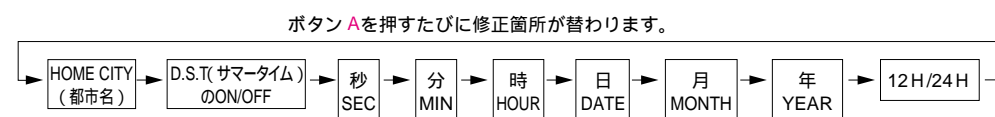
ボタンBを2-3秒間押し続けると、「TIME」が点滅して、「都市名」が表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。

ボタンAを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部(都市名含まず))を選ぶことができます。

年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

都市名を「GREENWICH」にすると「D.S.T.」の「ON」または「OFF」は表示しません。

「D.S.T.」の「ON」を表示させると、「マーカ」が点灯し、1時間進みます。



ボタンAを押すたびに修正箇所が替わります。

ボタンAを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンCまたはボタンDを押すと「00」に合います。秒表示が30-59秒のとき、ボタンCまたはボタンDを押すと1分繰り上げて「00」に合います。時刻合わせは、電話の時報サービス(TEL.117)が便利です。合わせたいところを点滅させたあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。また、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ戻ります。

(「D.S.T.」「秒」「12H/24H」を除く。)

ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。「時刻・カレンダー合わせ」が終わりまじら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後に「時刻・カレンダーモード」へ自動的にもどります。カレンダーは、1999年-2048年までの年、月、日、曜がプログラムされているので、この間の月の大小やうるう年でも修正する必要はありません。

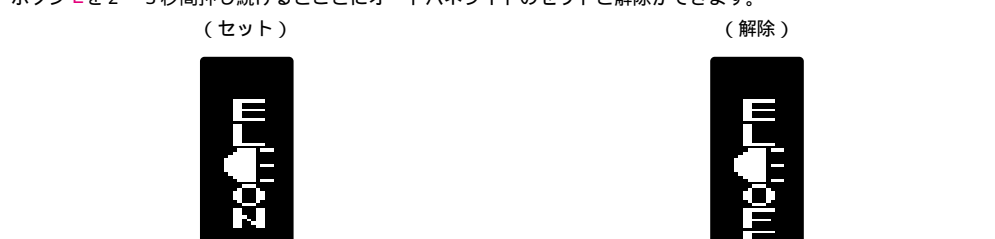
時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A B C D いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記のから合わせ直してください。



(3) アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時ならびに操作確認音のセットと解除
「時刻・カレンダーモード」でボタンDを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンCとDを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

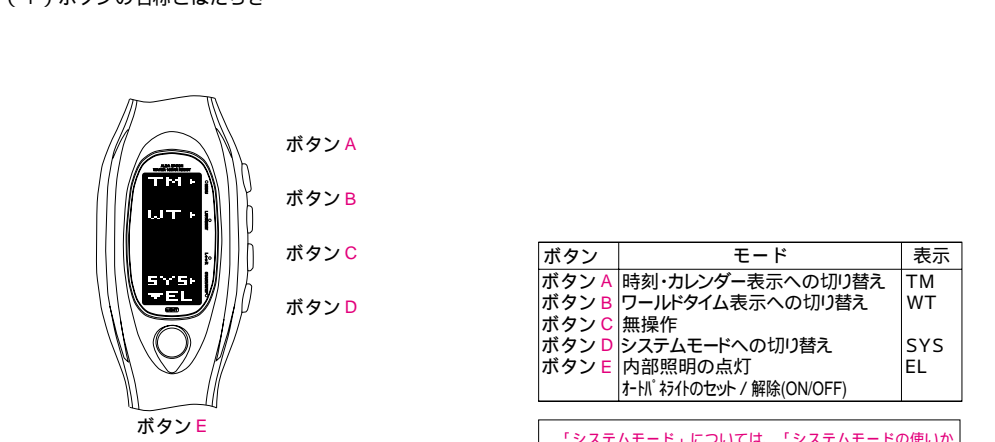


(4) オートパナライトのセットのしかた
ボタンEを2-3秒間押し続けるとオートパナライトのセットと解除ができます。



ワールドタイムの使いかた
・ワールドタイムはSMALL表示のみの表示になり、ローカルタイム時刻と都市名表示になります。
・都市名表示は都市名が10文字以下の場合、都市名を全表示(省略なし)します。都市名が11文字以上の場合、ワールドタイムモードにしたとき及び、都市選択後、都市名の頭に を付け3回文字スクロールし、スクロール終了後、可能な範囲表示をします。

(1) ボタンの名称とはたらき

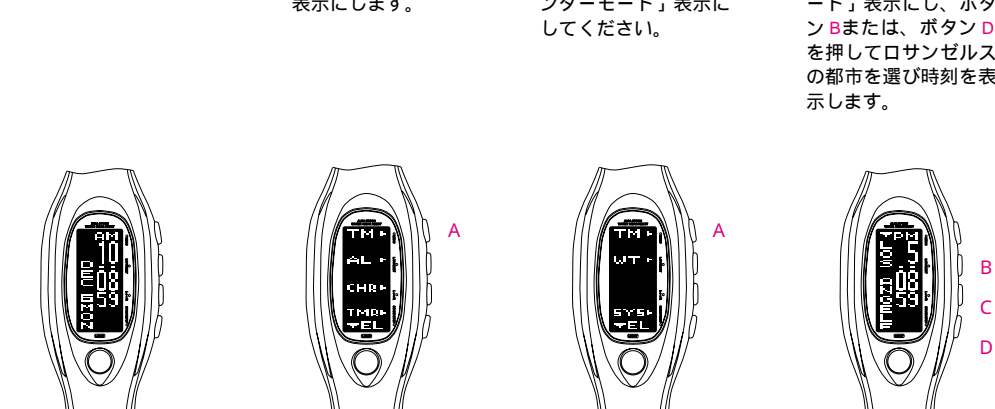


ボタン	モード	表示
ボタンA	時刻・カレンダー表示への切り替え	TM
ボタンB	ワールドタイム表示への切り替え	WT
ボタンC	無操作	
ボタンD	システムモードへの切り替え	SYS
ボタンE	内部照明の点灯 オート(ナイト)のセット/解除 (ON/OFF)	EL

AM/PM (12時間制の場合)に表示します。

(2) ワールドタイムの使いかた
・ボタンBを押して「ワールドタイム」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して「モードメニュー」表示にしてください。さらにボタンAを押して「時刻・カレンダーメニュー」表示にし、ボタンBを押して「ワールドタイム」表示にしてください。

例：東京が午前10時08分のとき、ロサンゼルス現在の時刻を調べる場合
現在時刻東京午前10時8分。ボタンAを1回押して「モードメニュー」表示にします。さらにボタンAを1回押して「時刻・カレンダーモード」表示にしてください。ボタンBまたは、ボタンDを押してロサンゼルスの都市を選び時刻を表示します。



(3) 都市名と時差一覧

都市名	都市名(日本語)	GMTとの時差	都市名	都市名(日本語)	GMTとの時差
GREENWICH	グリニッジ	+00:00	BANGKOK	バンコク	+07:00
LONDON	ロンドン	+00:00	JAKARTA	ジャカルタ	+07:00
PARIS	パリ	+01:00	KUALA LUMPUR	クアラルンプール	+08:00
AMSTERDAM	アムステルダム	+01:00	SINGAPORE	シンガポール	+08:00
GENEVA	ジュネーブ	+01:00	HONG KONG	香港	+08:00
ROME	ローマ	+01:00	BALI	バリ	+08:00
BERLIN	ベルリン	+01:00	BEIJING	北京	+08:00
ATHENS	アテネ	+02:00	CEBU	セブ	+08:00
ISTANBUL	イスタンブール	+02:00	SEOUL	ソウル	+09:00
CHANG	チャイ	+02:00	TOKYO	東京	+09:00
MOSCOW	モスクワ	+03:00	ADELAIDE	アデレード	+09:30
JEDDAH	ジェダ	+03:00	GUAM	グアム	+10:00
TEHRAN	テヘラン	+03:30	SAPAH	サパハ	+10:00
DUBAI	ドバイ	+04:00	SYDNEY	シドニー	+10:00
MAURITIUS	モーリシャス	+04:00	GOLD COAST	ゴールドコースト	+10:00
KARACHI	カラチ	+05:00	NOLMEA	ヌメア	+11:00
MAADIVELI	モディヴェリ	+05:00	WELLINGTON	ウェリントン	+12:00
DELHI	デリー	+05:30	HONOLULU	ホノルル	+10:00
DHAKA	ダッカ	+06:00	TAHITI	タヒチ	+10:00

各都市の時差、およびサマータイムは一部の都市により異なる場合があります。この表は、1998年8月時点の採用状況に基づいて作成してあります。

アラームの使いかた
・設定した時刻(時、分)で毎日報知するディラーアラーム機能付です。
アラームのON/OFF(セット/解除)切り替えができます。
・設定した時刻は、「時刻・カレンダーモード」の時間に合致したとき報知します。
アラーム音は3つの中から選択できます。(「システムモードの使いかた」を参照願います。)

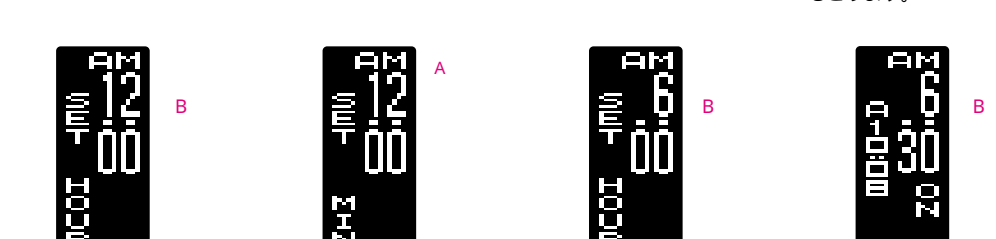
(1) ボタンの名称とはたらき



ディラーアラーム：毎日1日1回設定時刻にアラームが鳴る機能(24時間制)

(2) アラームの使いかた
「アラームモードメニュー」表示において、ボタンAを押して「アラーム」表示にしてください。他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。さらに、ボタンBを押して「アラームモードメニュー」表示にし、ボタンAを押して「アラーム」表示にしてください。例：アラーム時刻を「AM 6時30分」にセットする場合は、ボタンB2-3秒押し続けると「ALAR M」が点滅して、「時」と「分」が交互に点滅表示します。「時」が点滅表示し、「アラーム時刻合わせ」状態になります。

合わせたいところを点滅させたら、ボタンCまたは、ボタンDを押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。また、ボタンDを押すごとに点滅している数字が1つずつ戻ります。セットが終わりましたらボタンBを押して「アラームモード」にもどしてください。「ON」表示が点灯します。押し忘れた場合でも、2-3分後には「アラームモード」へもどります。



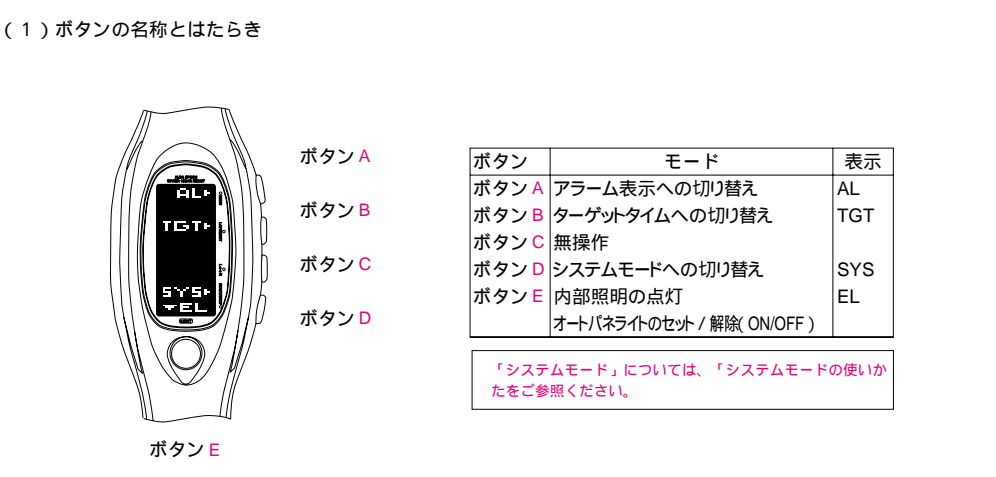
(3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合
「アラームモード」でボタンDを押すごとにセット(ON)と解除(OFF)ができます。(アラームが鳴ります) (アラームが鳴りません)



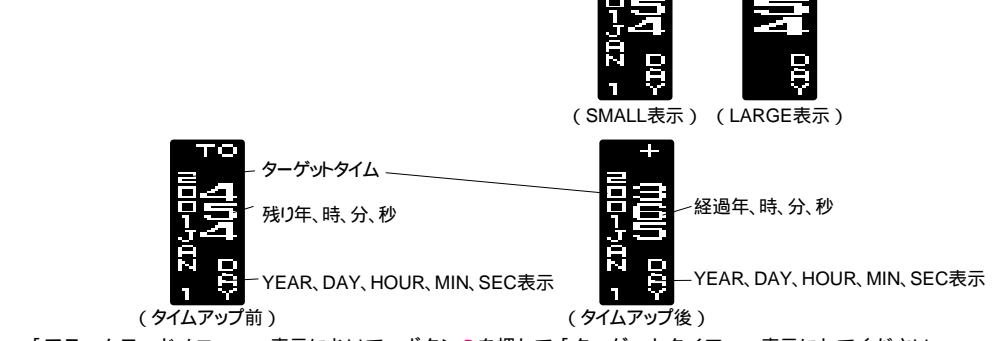
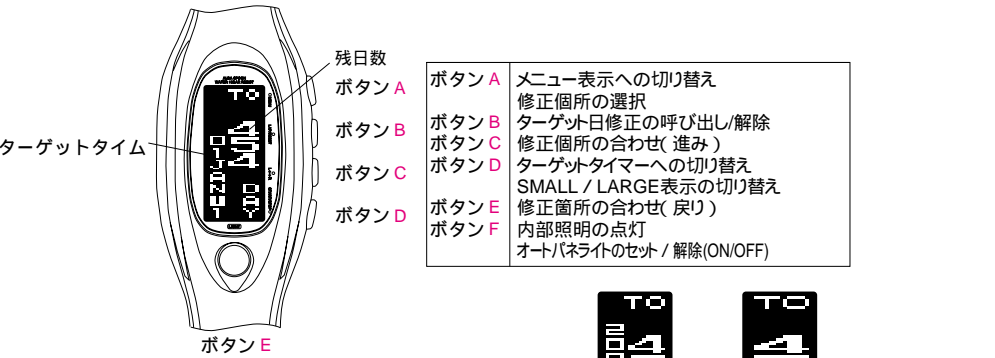
(4) 鳴っているアラームを止めるには
アラームは、セットした時間になると、20秒鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時はボタンA B C D E いずれかのボタンを押してください。

ターゲットタイムの使いかた
1. ターゲットタイムの初期設定が2001年1月1日になっています。
・ターゲット日までの残り日数をカウントします。残り1日を切ったら残時間、1時間を切ったら残分、1分を切ったら残秒表示というように表示が変わります。また、タイムアップ後は、秒、分、時、日、年というように表示が変わり、9999日までカウントします。
・2001年1月1日の午前0時にタイムアップし、ベートーベン交響曲第9番「歓喜」のメロディーと共に、世界11カ国で「新世紀おめでとう」のメッセージが順番に流れます。
2. ターゲットタイムは、任意に設定することができます。任意に設定すると、初期設定は、解除されます。
・1999年1月1日から2048年12月31日までの1日単位で任意に設定ができます。
タイムアップ時には、タイムアップ音が5秒間鳴ります。(ベートーベン交響曲第9番「歓喜」のメロディー、メッセージは、行われません。)
3. 目的とする日付(年、月、日)を設定し、設定日になったとき、現在時刻が0、10、20、30、40、50分になった10分ごとに、タイムアップを表すメッセージをスクロールします。

(1) ボタンの名称とはたらき

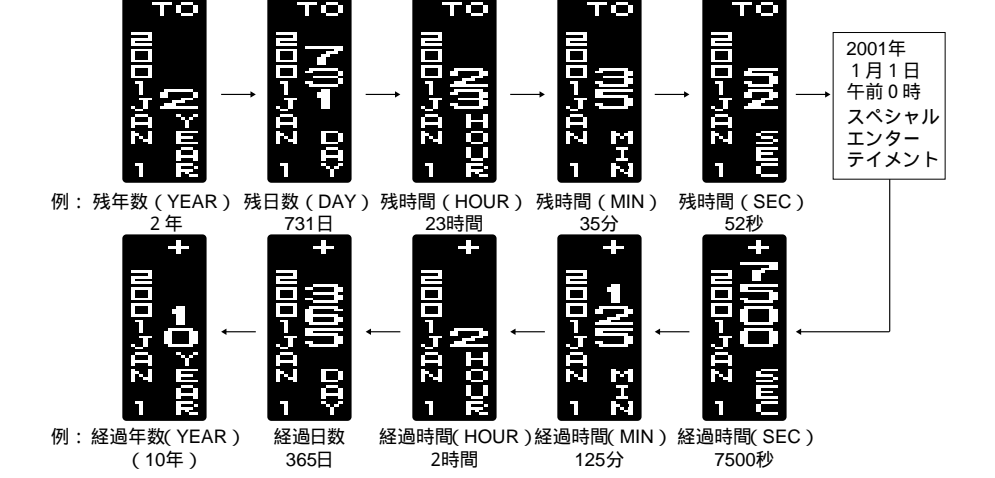


「システムモード」については、「システムモードの使いかた」をご参照ください。



「アラームモードメニュー」表示において、ボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンBを押して「アラームモードメニュー」表示にし、ボタンDを押して「ターゲットタイマー」表示にしてください。

(2) ターゲットタイマー (初期設定: 2001年1月1日) の使いかた



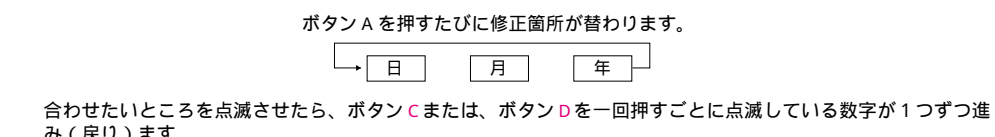
ターゲットタイム (設定した時間) を経過したときの、経過年、日、時、分、秒を表示します。
ボタンDを押すたびに経過時間の表示が替わります。



ターゲットタイム (設定した時間) に対する、残/経過年数の数値が50以上、残/経過時間 (日、時、分、秒) の数値が10000以上の場合は表示は、「」になります。



(3) ターゲットタイムを任意に設定する場合の合わせかた
「アラームモードメニュー」表示において、ボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示にしてください。
ボタンBを2-3秒間押し続けると「TARGET」が点滅した後、「日」が点滅表示し「ターゲットタイム」合わせ状態になります。
ボタンAを1回押すごとに合わせたいところ (点滅部) を選ぶことができます。



合わせたいところを点滅させたら、ボタンCまたは、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み (戻り) ます。

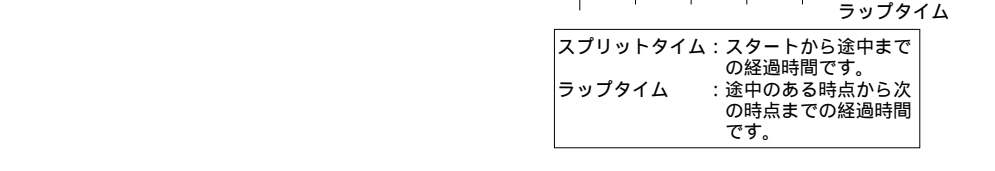
ボタンCまたは、ボタンDを押し続けると、早送りできます。
セットが終わりしたらボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示に戻してください。押し忘れた場合でも2-3分後はターゲットタイマーモードへ自動的に戻ります。

(4) メッセージ表示の動作
時刻・カレンダーモード」のとき、時刻表示の10分単位でメッセージを表示し、スクロールします。
A M 12:00 日 10分 20分 30分 日 M 11時40分 50分 24時間表示します。
時間帯によってメッセージ内容が変わります。
ランダムメッセージの種類は、あいさつ・ことわざ等があります。
なお、1月1日(2001年1月1日除く)、12月25日にはそれぞれ『A HAPPY NEW YEAR! JUST THE DAY!』 『MERRY XMAS! JUST THE DAY!』とあいさつ関係のメッセージを表示します。
メッセージ表示中にボタンA B C Dのいずれかを押すと、メッセージ表示を解除して通常表示になります。

ストップウォッチの使いかた

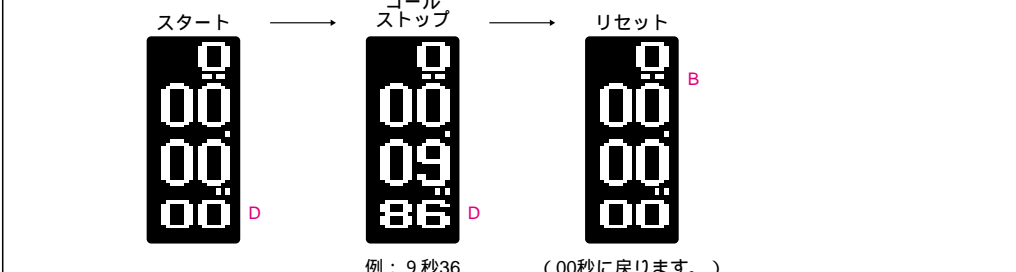
- ・1/100秒単位。最大計測時間は、9時間59分59秒99です。
- ・ラップ回数は、999回まで表示し、ボタン無操作で100時間以上放置された場合は自動的にリセットします。

(1) ボタンの名称とはたらき

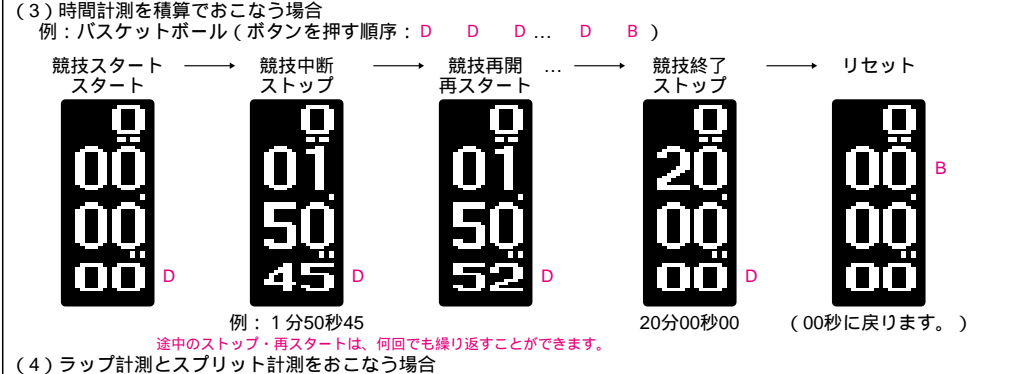


「ストップウォッチメニュー」表示において、ボタンAを押して「ストップウォッチ」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンCを押して「ストップウォッチメニュー」表示にし、ボタンAを押して「ストップウォッチ」表示にしてください。

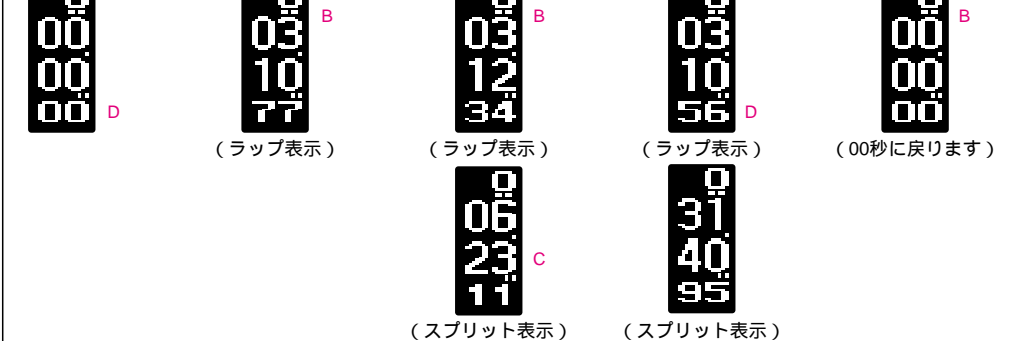
(2) 普通の使いかた
例: 100メートル競争 (ボタンを押す順序: D D B)



(3) 時間計測を種々なびこなす場合
例: バスケケットボール (ボタンを押す順序: D D D ... D B)

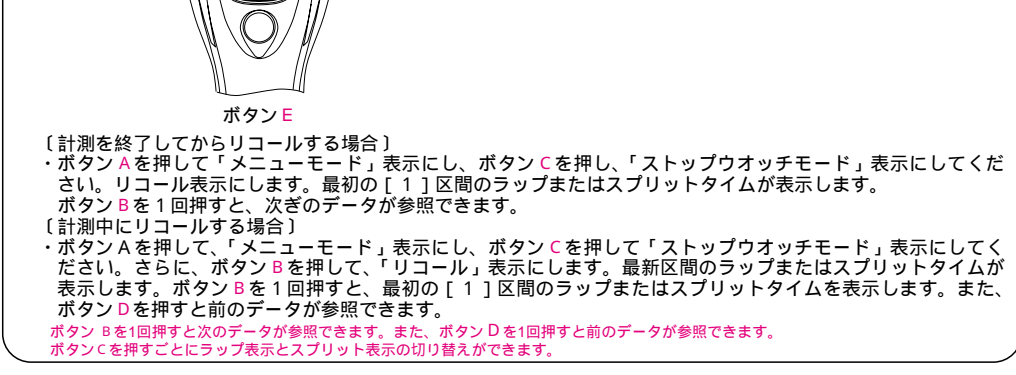


(4) ラップ計測とスプリット計測をおこなう場合
例: 10,000メートル競争 (ボタンを押す順序: D B B ... D B)



ラップ/スプリット計測後、ラップ/スプリット回数が点灯スクロールし、約10秒間表示をホールドします。その後自動的にストップウォッチ計測表示に戻ります。
途中のラップ/スプリットは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。以降1000 (表示: 000)、1001 (表示: 001)、1002 (表示: 002) と順次表示します。
ラップ表示/スプリット表示は、ボタンCを押すごとに切り替わります。
計測中に他の表示 (モード) に切り替えても計測は正常に継続されます。しかしこの場合、通常よりも多くの電池を消耗しますので、必要な時以外は計測を停止させてください。

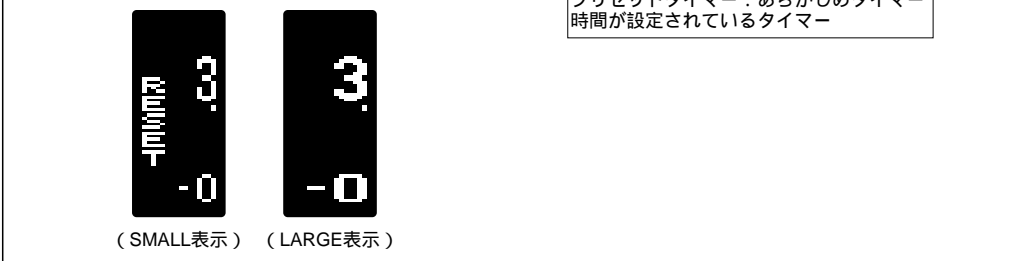
(5) リコールの使いかた
計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しができます。
計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。
メモリーしているラップ/スプリットタイムのリコール (呼び出し) は、次の順序でおこないます。
例: リコール (呼び出し) 状態 (計測終了後)



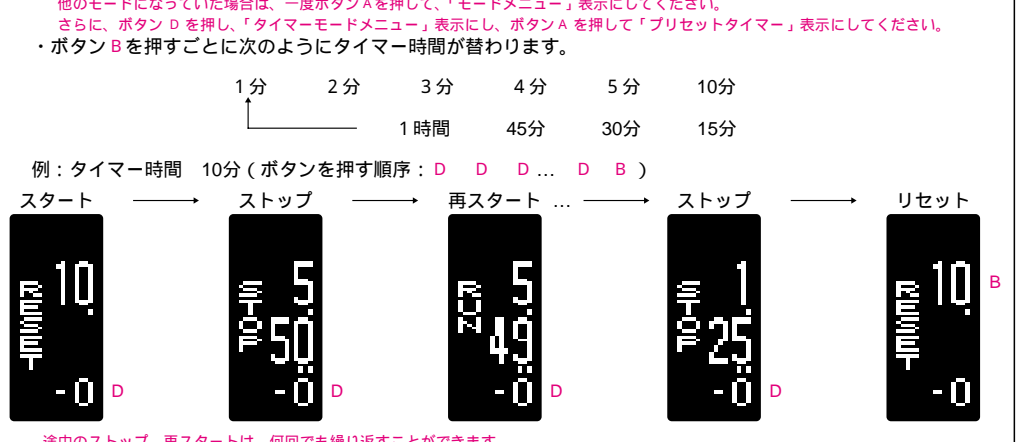
タイマーの使いかた

- ・1分、2分、3分、4分、5分、10分、15分、30分、45分、1時間の10c hの初期値がセットされたプリセットタイマーと、1分から9時間59分までの1分単位で可能なフリータイマーがあります。
- タイマーは、リピート (繰り返す) 機能のため、ストップさせないで最大10回繰り返して作動し停止します。

(1) ボタンの名称とはたらき

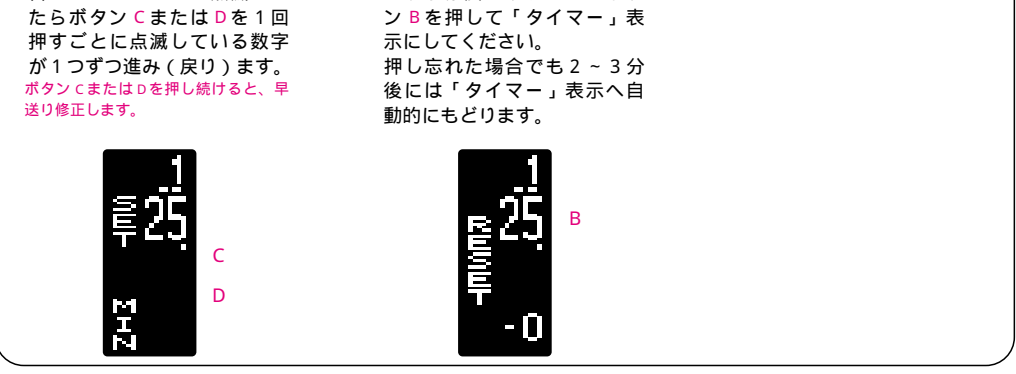
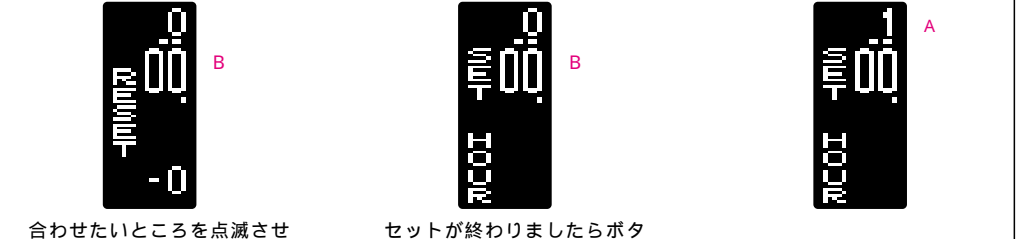
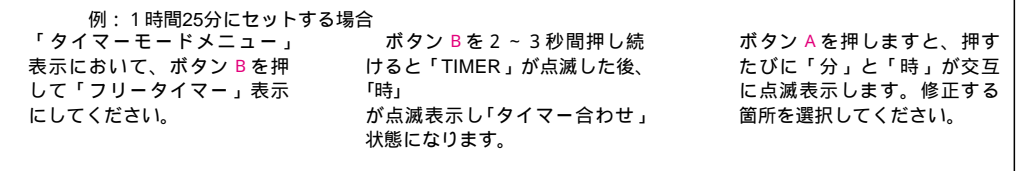


(2) プリセットタイマーの使いかた
「タイマーモードメニュー」表示において、ボタンAを押して「プリセットタイマー」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンDを押して「タイマーモードメニュー」表示にし、ボタンAを押して「プリセットタイマー」表示にしてください。
ボタンBを押すごとに次のようにタイマー時間が替わります。



途中のストップ、再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴ります。
鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、A B C D E、いずれか1つのボタンを押してください。
タイマーのリピート回数は、最大10回まで表示します。

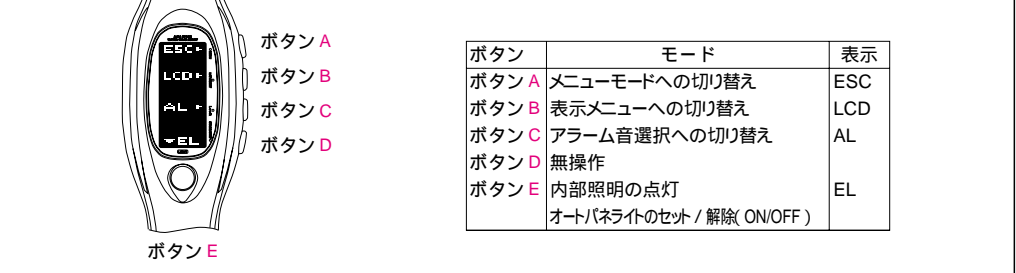
(3) フリータイマーの合わせかた
「タイマーモードメニュー」表示において、ボタンBを押して「フリータイマー」表示にしてください。
他のモードになっていた場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンDを押して「タイマーモードメニュー」表示にし、ボタンBを押して「フリータイマー」表示にしてください。
フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。



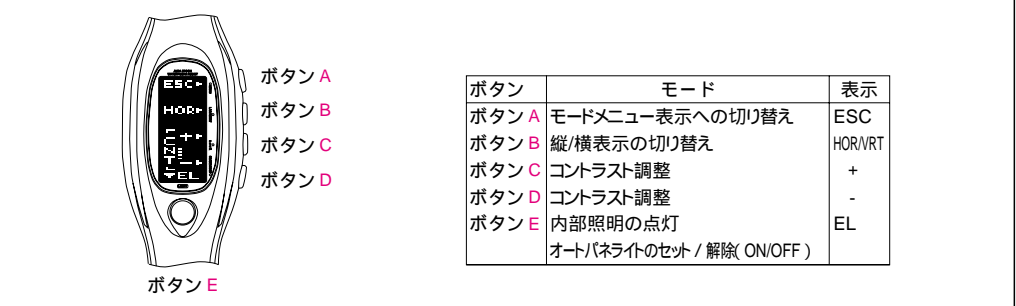
システムモードの使いかた

- ・表示コントラストの調整、縦/横表示切り替えができます。
- ・アラーム音を3つの中から選択することができます。
- 「モードメニュー」表示において、ボタンA、B、C、Dのいずれかのボタンを押すと「SYS」表示がボタンDの位置に表示しますので、ボタンDを押して「システムモードメニュー」表示にしてください。他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてからおこなってください。

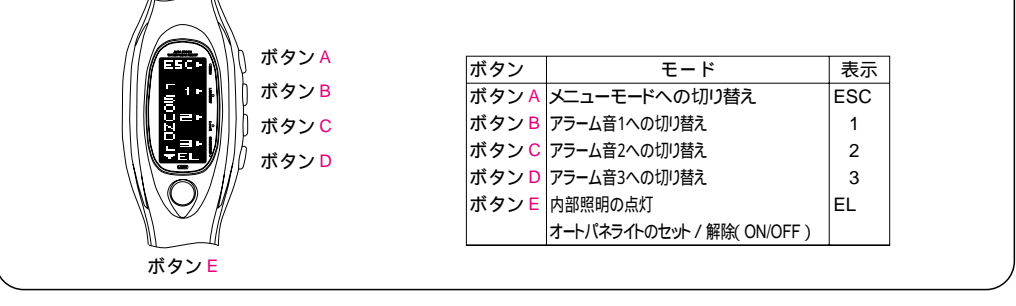
(1) ボタンの名称とはたらき



(2) 表示メニューの使いかた
「システムモードメニュー」表示よりボタンBを押して「表示メニュー」表示にしてください。
縦/横 (HOR/VRT) 表示の切り替えは、ボタンBを押すごとに切り替わります。
コントラスト調整は、ボタンCを1回押すとコントラスト表示が1つ上になります。また、ボタンDを1回押すとコントラスト表示が1つ下がりますので、コントラストの調整ができます。



(3) アラーム音選択のしかた
「システムモードメニュー」表示よりボタンCを押して「アラーム音選択メニュー」表示にしてください。
アラーム音は、3つの中から1つ選択することができます。



電池交換後のお願い (システムリセット)

- ・電池交換後や万一異常な表示 (読めない表示など) をした場合は、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

システムリセットのしかた
A B C D 4つのボタンを同時に2-3秒間押し続けてください。
表示が消え、ボタンを離すと、メニュー表示になります。次にボタンAを押すと「AM 12:00 00JAN 1 FRI」の表示になります。

